

特集

データヘルス新時代

新たなデータヘルス計画と保健事業 岡山 明

介護保険者の自立支援・重度化防止に向けた取り組み
橋本敬史

【富山県国民健康保険団体連合会の実践】

保険者協議会によるデータヘルスの推進 春名美和子

【品川区の実践】

職能団体と協働で取り組むデータヘルス計画 崎村詩織

【和光市の実践】

地域ケア会議を通じた自立支援の取り組み 東内京一

【富山県新川厚生センターの実践】

保健所が取り組む糖尿病対策のデータヘルス

角 園子, 大江 浩

データヘルス時代の健康づくり 長嶺由衣子, 近藤克則

PHOTO

行政・民間企業・地域関係団体の協働で特定健診の
受診率向上を目指す

品川区「受診啓発プロジェクト」 崎村詩織

連載

データウェアハウスを用いた保健医療統計データの活用 岡本悦司

ナカイタ発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

時代が求める！ 保健師記録の仕組みづくり 柳澤尚代ほか

編集後記

●末永氏による中長期視点での災害時保健活動に関する論考や岩沼プロジェクトの研究結果など、今特集を通じて、人と人がつながり合う地域づくりこそが災害対策や減災の基盤なのだと、あらためて思いました。これは、災害対策のみならずあらゆる施策・事業の基盤ともなるため、目の前の課題に即した取り組みのみならず、中長期的視点を持って地域に関わる重要性を強く感じました。数百年周期で各地に大規模地震が起きていることが分かっていますが、時には、そのくらい未来の地域の姿を思い描いてみることも大切なかもしれません。(小林)

●東日本大震災の当時、私は大学生だったのですが、震災後、ボランティアとして現地に赴きました。当時「社協」という言葉も知りませんでしたが、石巻市の大学の駐車場で過ごした3月の数週間は本当に貴重な経験でした。大学で医療関係の勉強をしていた私は、震災を通じて「伝えること」の重要性を感じて将来の職への考え方を変えたのですが、その思いをお伝えするには全く紙面が足りません。今回の企画にあたり改めて、7年経った今も、その道中に見た景色や出会った人の顔を鮮明に思い出すことに気付かされました。(長原)

保健師ジャーナル 第74巻第3号 2018年3月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2018年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林/長原/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。